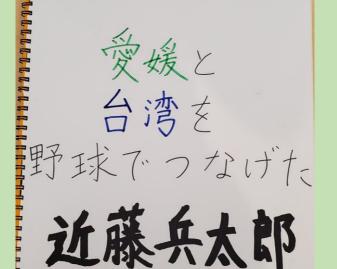
## 愛媛県文化協会長賞 レポート部門 「愛媛と台湾を野球でつなげた近藤兵太郎」 松山市立勝山中学校 第1学年



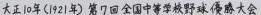
松山市立勝山中学校 1年5組 鹿見莉希

## 松山商業野球部との最後

兵太郎…公学校に勤務しながら、松山商業野球部監督 は継続していた。

大事な公式戦は、夏休み中に 行われることが多かったので、

松山中を7対0で完封 優勝 第6回中等学校野球優勝大会四国予選 香川商業を8封1で破る 全国大会へ 第6回中等学校野球優勝大会 一回戦:鴻城中10対 | 肠二回戦:明星19対0 肠 準決勝: 掌語 4対3 働→ベスト4



前年の選手のうち、 藤本定義 · 近藤順

けで、弱体化していた。

・灘尾益美 の3人を残すだ 左翼: 岸思愧ニ 中堅: 灘尾益美 右翼:松木昌訓 を配置して臨んだ。

二回戦:明倫中を5対4で破る

三回戦:京都一商と対戦。7対1で敗れた

大正11年(1922年)第8回全国中等学校野球優勝大会



大正12年(1923年)第9回全国中等学校 野球優勝大会 甲陽中と対戦。9回表で逆転負け

大正13年(1924年) 準決勝松太商業に敗れた 大王14年(1925年) 子選默退

喜義農林学校が開校したのは、 大正8年(1919年)4月。 ・正式名称は、台湾公立嘉義農林学校 ・三年制で全寮制

・野球部ができたのは開校から9年後

丘太郎は喜義農林に野城部ができたことを耳にしたが興味を持たないようにした

怖くなった

浜田は、嘉義農林野球部の内情を語り 指導を引き受けてくれるよう要請した。

兵太郎はは、きり断った、

と思い指導を引き受けた。

部買と兵太郎のこのときから、

去太郎と野球部員との終が生まれた。

■ 嘉義農林学校野球部について

・大和民族、漢民族、原住民族の三民族 混成のチーム

〒·部買は14人(日本人8人, 漢人3人, 原住民族3人)